

市長コラム

夢かなうまち  
おびひろ

帯広の森 一次の50年へ

帯広市長 米沢 則寿



昨年5月、帯広の森にある「はぐくむ」で開催された「森のこどもらんど」というイベントに参加しました。その日は、あいにくの雨でしたが、子どもたちは森の中を走り回り、泥だらけになりながら外遊びをするなど、全力で楽しむ姿がありました。それをうれしそうに見ていたお母さんの一人は地元の方ではないようで、市街地からすぐ近くに、このような環境があることに、とても感激しておられました。

緑や森などの価値が世界的にも改めて注目されています。現在、メーカーや商社、流通業など多くの企業が、国内外で森づくりに取り組んでいます。緑豊かな帯広の森がまちを包んでいる今の姿を目にすると、50年も前からSDGsの時代を先取りし、森づくりを進めてきた、その先見性と行動力に改めて感銘を覚えます。

当時の人たちは、なぜ森をつくりたいと考えたのでしょうか。昭和46年に策定された第二期帯広市総合計画にこんな一文が記されています。「二十万市民が、緑と太陽と空間に恵まれた環境の中で、未来の夢を描き、風土に根差した文化を創造するにふさわしいまちづくりを百年の大計として進めていくため、帯広の森の建設を市民ぐるみで推進する」。森を通じて、市民が緑と良好な関係性を築き、豊かな日常を送る。そうした関係性が、帯広の文化として高められていく未来の姿を思い描いていたのかもしれない。

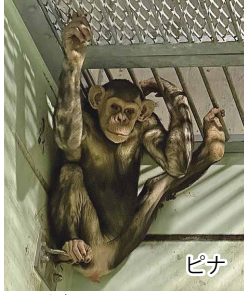
森の中で散歩やジョギングをする人、動植物を鑑賞する人、体育施設や交流館を利用する人、冬にはクロスカントリーを楽しむ人など、それぞれが心地よい憩いの「時」を過ごしています。ここに暮らす人たちの日常には森との接点がある。その風景は、文化や豊かさを象徴するものであり、様々な人が森に関わることで、森の価値もさらに高まるように思います。

造成から半世紀を迎えた今、当時の人たちが森づくりを始めてくれたように、私も皆さんと50年後の市民の豊かな暮らしを想像しながら、森との関係性について考えていきたいと思います。



今月はチンパンジー

2018年にコウタ（31歳）とプロ（17歳）の子として生まれたピナ（5歳）。育ち盛りで、いつも全身を使って遊んでいます。好奇心が旺盛で、来園者にも興味津々です。



元気いっぱい  
に飛び回っています。

チンパンジー  
担当 中山さん



仲むつまじい親子3頭ですが、今、ピナはチンパンジーの社会性を学ぶ大切な時期を迎えています。時には父のコウタから、ピナにしっかりと指導が入る場面がみられます。



Y.Yさん提供



akimaru178さん提供



園長賞

おびひろ動物園の動物たちの写真を大募集！

動物園長と広報担当で厳選し、魅力的な写真を当コーナーで紹介いたします。次回（7月号）の紹介予定の動物は「アカカンガルー」です！

- Instagramの場合…「#広報おびひろZOOレター」を画像に付けてアップ
- Eメールの場合…photo@city.obihiro.hokkaido.jpに画像（5MB以内）を添付して送付

※提供された写真は、次回のZOOレターで紹介したり市の広報物などに使用する場合があります。その場合、個別にお知らせはしません。写真に関する問い合わせは、広報広聴課へ。



市政のお知らせを放送しています

- ◆テレビ 市役所だより(OCTV 11ch) 毎日4回放送していて、市ホームページからもご覧になれます。
- ◆ラジオ(毎週月・水・金曜日) おびひろタウンインフォメーション(FM-JAGA77.8MHz) 9:15~9:20  
おびひろ広報メモ(FM-WING76.1MHz) 9:30~9:35

広報おびひろの感想を聞かせてください

最後まで読んでいただきありがとうございます。よりよい広報紙にするために「こうした方が読みやすい」など皆さんの感想をお聞かせください。

広報掲載記事に関連するWEBページを簡単に探せます

広報記事内に記載されている7桁の数字（ページID）を、市ホームページの「広報ページID検索」欄に入力するだけで該当WEBページのより詳細な情報が確認できます。ぜひご利用ください。

市ホームページID: 1000038

問い合わせ 広報広聴課（市庁舎3階、☎65・4109、FAX 23・0156、Eメール report@city.obihiro.hokkaido.jp）